



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月10日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

（コード番号：6490 東証・大証1部）

（URL <http://www.pillar.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 岩波 清久
 問合せ先責任者 経理部長 辻 寛和

TEL：（06）6305-2801

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：有 連結(新規)2社

2. 平成18年3月期第1四半期の財務・業績概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満の端数切捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	4,293	11.2	307	67.1	342	64.5	202	64.1
17年3月期第1四半期	4,833	14.1	935	-	963	-	564	-
(参考)17年3月期	19,422		2,847		2,863		1,683	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	9	91	8	86
17年3月期第1四半期	27	83	-	-
(参考)17年3月期	80	62	76	14

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	25,174	16,047	63.7	784 78
17年3月期第1四半期	23,842	15,032	63.1	741 71
(参考)17年3月期	26,005	16,150	62.1	787 47

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	539	307	34	1,386
17年3月期第1四半期	504	214	259	1,855
(参考)17年3月期	2,895	3,395	1,310	2,118

【参考】

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

現時点において、当第1四半期の業績は概ね予想通りに推移しているため、平成17年5月13日に発表いたしました平成18年3月期中間期及び通期の連結業績予想を変更していません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	9,300	800	450
通期	18,800	1,900	1,100

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 51円 49銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

経営成績(連結)の進捗状況

当第1四半期は、堅調な個人消費や企業収益の改善を背景とした設備投資の拡大などにより、わが国経済は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では原油をはじめとする素材価格の高騰など、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、メカニカルシール、グランドパッキンなどのシール製品は保守需要や海外プラント案件の受注獲得に鋭意努力いたしました結果、受注高は前年同期を上回る水準で推移しているものの、出荷の一部が第2四半期以降となるため、当第1四半期の売上高は前年同期並みとなりました。

一方、IT・デジタル関連製品は在庫調整から徐々に回復の動きが出始めているものの、当第1四半期においてはそれら在庫調整の影響により、半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当第1四半期の連結業績につきまして、売上高は4億2,930百万円(前年同期比11.2%減)、利益面では、半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品の操業度が低下したため、経常利益は3億4,200百万円(前年同期比64.5%減)、当第1四半期の純利益は2億2,000百万円(前年同期比64.1%減)となりました。

連結売上高を製品部門別に見ますと、MS製品部門(メカニカルシール製品部門)は1億2,740百万円(前年同期比2.2%減)、GP製品部門(グランドパッキン・ガスケット製品部門)は9億7,800百万円(前年同期比3.0%増)、PF製品部門(ピラフロン製品部門)は2億2,100百万円(前年同期比21.1%減)、その他部門(不動産賃貸)は1,900百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

財政状態(連結)の変動状況

当第1四半期の財政状態は総資産が前連結会計年度末に比べ8億3,100百万円減少し、25億1,740百万円となりました。一方、株主資本は前連結会計年度末に比べ1億2,000百万円減少し、16億4,700百万円となりました。その結果、当第1四半期の株主資本比率は前連結会計年度末の62.1%から63.7%に増加いたしました。

当第1四半期のキャッシュ・フローの状況につきましては以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5億3,900百万円の支出となりました。主な要因は、売上債権の減少などの増加要因があったものの、税金等調整前四半期純利益の減少及び法人税等の支払いで9億5,100百万円支出したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備などの取得によるもので、3億700百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、決算・賞与資金のための短期借入金の増加及び配当金の支払いなどにより、3,400百万円の収入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、新規連結子会社の現金及び現金同等物期首7,400百万円を含め、前連結会計年度末と比較して7億3,200百万円減少し13億8,600百万円となりました。

リスク情報（アスベストによる健康障害等に関する当社の対応）

当社におけるアスベストによる健康障害の状況につきましては、平成 17 年 7 月 7 日付けで「当社の石綿（アスベスト）の使用状況および健康障害状況について」で情報開示しております。

当社におけるアスベスト関連の対応は総務人事部を窓口としております。

総務人事部連絡先：（TEL）06 - 6305 - 1781

当社三田工場周辺の住民の皆様へ説明会を開催いたしました。

当社三田工場周辺の住民の皆様、元従業員の皆様、並びに従業員等のうち、健康診断を希望される方には当社の負担で健康診断を実施いたします。

アスベスト疾病により死亡された元従業員（1名）の方には現行の社内規程に基づき補償を行っております。尚、将来予想される補償費用につきましては、現段階では金額の判断が困難であるため引当金の計上は行っておりません。

今後ともアスベストによる健康障害等の問題につきましては、国の政策等を踏まえ、地域行政当局のご指導を仰ぎつつ誠意を持って対応してまいります。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成17年3月31日現在)		前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産	13,787	54.8	14,419	55.4	13,089	54.9
現金及び預金	1,717		2,450		1,990	
受取手形及び売掛金	8,017		8,260		8,495	
有価証券	1,823		1,826		210	
たな卸資産	1,831		1,460		1,898	
その他	412		435		504	
貸倒引当金	14		14		11	
固定資産	11,386	45.2	11,586	44.6	10,752	45.1
有形固定資産	8,306	33.0	8,476	32.6	7,844	32.9
無形固定資産	138	0.5	151	0.6	198	0.8
投資その他の資産	2,941	11.7	2,957	11.4	2,709	11.4
資産合計	25,174	100.0	26,005	100.0	23,842	100.0
(負債の部)						
流動負債	4,799	19.1	5,376	20.7	6,520	27.3
支払手形及び買掛金	2,126		1,865		2,228	
短期借入金	1,032		737		1,851	
その他	1,641		2,773		2,440	
固定負債	4,303	17.1	4,453	17.1	2,267	9.5
社債及び長期借入金	2,463		2,539		335	
退職給付引当金	1,433		1,468		1,506	
その他	406		444		426	
負債合計	9,103	36.2	9,830	37.8	8,788	36.8
(少数株主持分)						
少数株主持分	23	0.1	25	0.1	20	0.1
(資本の部)						
資本金	3,262	13.0	3,262	12.5	3,262	13.7
資本剰余金	3,062	12.1	3,062	11.8	3,027	12.7
利益剰余金	9,850	39.1	9,948	38.3	8,991	37.7
その他有価証券評価差額金	406	1.6	417	1.6	403	1.7
為替換算調整勘定	33	0.1	40	0.2	43	0.2
自己株式	500	2.0	499	1.9	608	2.5
資本合計	16,047	63.7	16,150	62.1	15,032	63.1
負債・少数株主持分及び資本合計	25,174	100.0	26,005	100.0	23,842	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕		前第1四半期 〔自平成16年4月1日 至平成16年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成16年4月1日 至平成17年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	4,293	100.0	4,833	100.0	19,422	100.0
売 上 原 価	2,839	66.1	2,881	59.6	12,361	63.6
売 上 総 利 益	1,454	33.9	1,952	40.4	7,060	36.4
販売費及び一般管理費	1,146	26.7	1,016	21.0	4,212	21.7
営 業 利 益	307	7.2	935	19.4	2,847	14.7
営 業 外 収 益	40	0.9	39	0.8	117	0.6
受取利息及び配当金	19		10		25	
そ の 他	20		28		92	
営 業 外 費 用	6	0.1	11	0.3	102	0.6
支 払 利 息	5		5		24	
そ の 他	0		5		77	
経 常 利 益	342	8.0	963	19.9	2,863	14.7
特 別 利 益	2	0.0	-	-	10	0.1
特 別 損 失	-	-	0	0.0	31	0.2
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	344	8.0	962	19.9	2,841	14.6
法人税、住民税及び事業税	35	0.8	509	10.5	1,203	6.2
法 人 税 等 調 整 額	105	2.5	112	2.3	52	0.3
少 数 株 主 損 益	1	0.0	1	0.0	6	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	202	4.7	564	11.7	1,683	8.7

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
		(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
・営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		344	962	2,841
減価償却費		225	220	923
賞与引当金の増減額(減少：)		257	252	60
退職給付引当金の増減額(減少：)		34	21	58
役員退職引当金の増減額(減少：)		43	3	20
受取利息及び受取配当金		19	10	25
支払利息		5	5	24
役員賞与		47	58	58
有形固定資産除却損		-	0	50
売上債権の増減額(増加：)		240	672	441
たな卸資産の増減額(増加：)		326	407	31
仕入債務の増減額(減少：)		189	369	5
未払消費税等の増減額(減少：)		7	44	59
その他の		130	68	4
小 計		400	668	3,310
利息及び配当金の受取額		18	10	25
利息の支払額		7	7	23
法人税等の支払額及び還付額(純額)		951	166	416
営業活動によるキャッシュ・フロー		539	504	2,895
・投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出		100	0	332
有形・無形固定資産の取得による支出		194	193	1,310
その他の		13	20	1,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		307	214	3,395
・財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(減少：)		310	506	712
長期借入による収入		-	-	500
長期借入金の返済による支出		99	81	288
社債の発行による収入		-	-	1,993
配当金の支払額		173	162	323
その他の		3	2	140
財務活動によるキャッシュ・フロー		34	259	1,310
現金及び現金同等物に係る換算差額		5	1	2
現金及び現金同等物の増減額(減少：)		807	550	813
現金及び現金同等物の期首残高		2,118	1,305	1,305
新規連結子会社の現金及び現金同等物期首		74	-	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		1,386	1,855	2,118

生産、受注及び販売の状況

1. 生産高

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
メカニカルシール	1,197	1,485	5,342
グランドパッキン・ガスケット	828	862	3,350
ピラフロン	1,999	2,540	9,610
合計	4,025	4,887	18,303

2. 受注高

(単位：百万円)

	当第1四半期		前第1四半期		前連結会計年度	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
メカニカルシール	1,536	1,050	1,509	848	5,878	787
グランドパッキン・ガスケット	986	204	946	186	3,724	196
ピラフロン	2,173	875	2,673	1,056	9,676	723
合計	4,696	2,129	5,129	2,091	19,278	1,707

3. 販売高

(単位：百万円)

	当第1四半期		前第1四半期		前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流体制御関連機器事業						
メカニカルシール	1,274	29.7%	1,302	29.5%	5,732	29.5%
グランドパッキン・ガスケット	978	22.8%	950	19.1%	3,718	19.1%
ピラフロン	2,021	47.0%	2,562	51.0%	9,896	51.0%
計	4,274	99.5%	4,815	99.6%	19,347	99.6%
その他事業	19	0.5%	18	0.4%	74	0.4%
連結売上高	4,293	100.0%	4,833	100.0%	19,422	100.0%